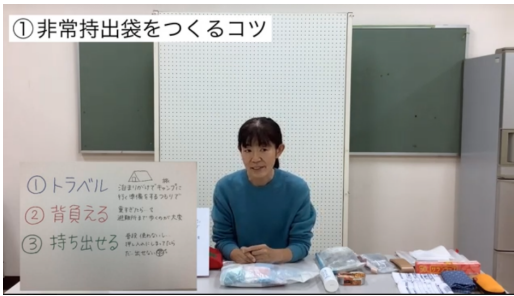


防災研修を行いました。

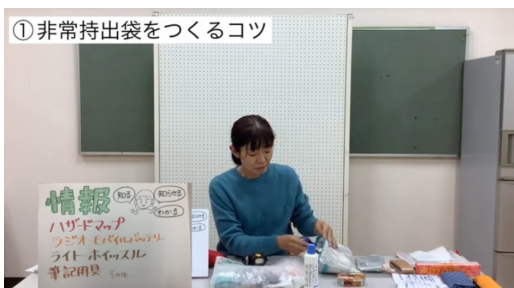
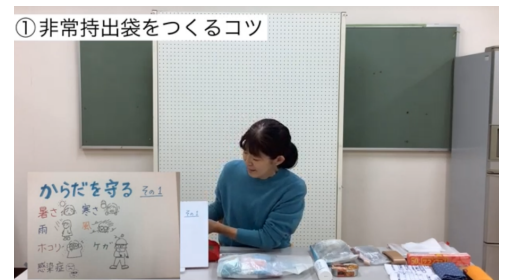
令和5年 12月18日（月） 全体研修

本校の防災アドバイザーでご指導いただいている防災士の田原様に、非常持出袋の重要性についてご講義いただきました。



まずは、「非常持出袋のつくるコツ」について3つのポイントをふまえて教えていただきました。ポイント①「トラベル」です。旅やキャンプの支度をするような楽しい気持ちで必要な物を準備するとのことでした。ポイント②「背負える」です。水や食料、電池を袋に入れるとかなり重たくなり、避難所に辿り着くことが困難になります。ポイント③「持ち出せる」です。せっかく用意した持出袋も、押し入れなどに入れてしまうと取り出しにくくなります。一人につき一つ、持ち出しやすい場所に置いておくことが大切だそうです。

次に、非常持出袋の中に入れておくの良い物を紹介していただきました。暑さ、寒さ、雨、風、ほこり、怪我、感染症などの外的要因から身を守ることを想定して準備するそうです。レインコート、軍手、マスク、カイロ、簡易トイレ、応急手当セット、スリッパ、折り畳み式ヘルメットなどを入れておく良いそうです。



災害時情報を得ておくことは重要で、区役所に置かれているハザードマップをあらかじめ読んでおいてほしいとのことでした。災害時の情報獲得ツールとしてスマートフォンも便利ですが、バッテリー消費を考慮して、小型のラジオやライトなどをご紹介いただきました。暗闇の中でブレイカーを探すことは困難なので、蛍光テープを貼っておくと良いというアドバイスもいただきました。

ゴミ袋、ラップ、ふるしき、手ぬぐい、ガムテープ、ライター、小銭、トイレトペーパー、ワセリンは、用途が一つではなく、様々な使い方ができます。例えば、ガムテープは付箋代わりになります。あれもこれも非常持出袋に入れたくなりますが、全ては入りません。自分にとって必要なものを選択して、オリジナルのものを作ってくださいとのことでした。

